

〈NGO・外務省定期協議会 2025 年度第 3 回 ODA 政策協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. 議題案名:

OECD-DACの2026年の動き(Peer Review, DAC市民社会勧告の5年レポートなど)への対応について

2. 議題の背景:

OECD-DACに関連して2026年にはさまざまなことが予定されている。第一に日本に対するPeer Reviewが実施されている。第二にDAC市民社会勧告の採択5年に合わせて実施レポートが公表され、またPeer Reviewでも市民社会勧告の実施状況が検証される。夏前に完成・公表される予定である。それぞれについて日本政府の対応をうかがいたい。なお、この他にもDAC Review(役割に再検討)や貧困と不平等に関するガイダンスの作成が進み、DACについて、今後注目すべき動きは多い。

3. 外務省への事前質問(論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係などがあれば):

- (1) Peer Reviewのだいたいの日程と、近年のPeer Reviewの中心に据えられる3～5つの長所とチャレンジについてどのようにお考えか、現段階で可能な範囲で情報を提供いただきたい。
- (2) DAC市民社会勧告について、すでにOECD事務局Development Co-operation Directorateによるアンケート調査が行われているが、その実施をどこまで日本政府は行ってきたとお考えか、うかがいたい。

4. 議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと):

- (1) Peer Reviewは日本のODA政策をDACメンバー全体の動向を視野に入れつつ、批判的に検討する良い機会であり、また市民社会の参加も制度化されている。2023年ごろからPeer Reviewは3～5つの長所とチャレンジ(課題)を中心にしつつ、勧告文書の実施など共通項目も併せて行われている。Peer Reviewに備え、外務省の準備状況や認識を以下、確認しておきたい。
 - (1) Peer Reviewのだいたいの日程(日本における調査、フィールド2か所における調査)を確認したい。
 - (2) すでに日本政府としてのself-assessmentを提出している時期であると推察するが、日本政府として長所と課題をどのように考えているのかをうかがいたい。
- (2) DAC市民社会勧告は、市民社会スペースへの取り組み、市民社会政策の策定、より柔軟な資金的支援、南の市民社会への直接支援の拡充などを含むが、日本のCSO支援策に変化が見られない。勧告の実施をどのように外務省は考えているのか知りたい。
 - (1) 第1の柱「市民社会スペース」と第2の柱「CSO支援に共通」

DAC市民社会勧告ではCSOと市民社会スペースの政策枠組みを策定することが奨励されている。日本の場合は開発協力大綱において市民社会についてのパラグラフがあるのみ

で、独立した政策文書ではなく、また市民社会スペースについての政策は確認できない。
今後CSOと市民社会スペースの政策枠組みを策定する予定はあるのか。

(2) 第1の柱「市民社会スペース」

パートナー国(被援助国)政府との政策対話で、市民社会スペースの問題は取り上げているのか。他の援助国や国際機関と市民社会スペースについての情報交換・協調行動について。

(3) 第2の柱「市民社会への支援」

- ① 日本はODAに占める市民社会支援が1.1%(2023年)とDACメンバーで常に最下位レベルであることの改善の可能性。
- ② より柔軟で予測可能なコア・プログラム支援への移行の可能性。障壁があるとすれば何か。
- ③ パートナー国の市民社会支援の拡充やパートナー市民社会との政策対話の制度化。
- ④ 手続きの簡素化。
- ⑤ 開発教育・地球市民教育支援の可能性。

(4) 第3の柱「CSOの効果・透明性・アカウンタビリティの動機づけ」

CSO自身による効果・透明性・アカウンタビリティや組織強化支援の拡充の可能性。

- (3) DACにはいくつかの政策について実務者レベルの率直な形式ばらない意見交換の場としてCommunity of Practice (CoP)があり、市民社会と貧困・不平等に関してもCoPがある。質問者は市民社会CoPについては2025年6月(パリOECD本部で対面参加)、11月(全面オンライン)、貧困・不平等CoPについては12月(オンライン)に、市民社会にも開かれたセッションに参加したが、日本のODA機関(外務省・JICA)関係者の出席がなかったのは残念であった。CoPへの積極的な参加をお願いしたい。

- 氏名:高柳彰夫
- 役職:政策アドバイザー
- 所属団体:(特活)国際協力NGOセンター

以上